



Title	グローバル日本研究クラスター活動記録
Author(s)	
Citation	グローバル日本研究クラスター報告書. 2018, 1, p. 4-8
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/68041">https://hdl.handle.net/11094/68041</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## グローバル日本研究クラスター活動記録

\*所属・職位はイベント開催時のもの

- 2014年6月13日、ハンス・クレーマさん（ハイデルベルク大学教授）講演会、演題「20世紀前半アジア・ヨーロッパの反植民地運動における宗教の役割」、秋田茂さん（本研究科教授）コメント
- 2014年12月20日、国際ワークショップ「グローバル冷戦と1950年代日本の文化/運動」、アン・シェリフさん（オーバーリン大学教授）「中央情報局の文化の自由と日本の『自由』」、宇野田尚哉さん（本研究科准教授）「分断線の向こう側とこちら側：1950年代在日コリアンの文化運動」、謝花直美さん（本研究科大学院生）「排除される言葉：二つの琉大事件をめぐって」、辛島理人さん（関西学院大学専任研究員）コメント
- 2015年2月10日、趙寛子さん（ソウル大学校助教授）講演会、演題「韓国における日本研究の動向」。大学院生研究発表会、飯守桂一さん（本研究科大学院生）「1950-60年代障害者コロニーにおける「ものづくり」と空間の構築」、キム・ジュナさん（本研究科大学院生）「日韓協定以降のメディアから見る「韓国人出稼ぎ者」像」、趙寛子さんコメント
- 2015年2月21日、国際ワークショップ「可能性としての東アジア思想史」、趙寛子さん（ソウル大学校助教授）「日韓における抵抗「民族主義」：定言命令とイロニー」、洪宗郁さん（同志社大学准教授）「南北朝鮮の植民地半封建論について：「梶村秀樹の内在的發展論を読みなおす」(韓国語)の紹介をかねて」、周雨霏さん（本学人間科学研究科大学院生）「The Controversy on China's Social History from a Transnational Point of View: Intermediaries, Translations, and Networks」
- 2015年10月6日、ティル・クナウトさん（ハイデルベルク大学助教授）講演会、演題「“For us it is now possible to overcome Marx!”The Precariat, Ainu-Liberation and Anti-Japanism after 1968」、舟場保之さん（本研究科准教授）コメント
- 2015年11月26日、荒木浩さん（国際日本文化研究センター教授）講演会、演題「スーパーグローバル時代の日本研究に求められるもの：学知・姿勢・ネットワークと戦略」、舟場保之さん（本研究科准教授）コメント
- 2015年12月19日、国際ワークショップ「両大戦間期日本思想史再考」、ディック・ステゲウェルンスさん（オスロ大学准教授）「新世界への調整：戦間期日本知識人の対外認識」、黒川伊織さん（神戸大学研究員）「1920年代東アジアの思想空間：国際共産主義運動とワシントン体制の相克」、福家崇洋さん（富山大学准教授）コメント
- 2016年1月10日、国際ワークショップ「ベトナム反戦体験から「戦後」日本を問う」（青丘文庫研究会と共催、神戸にて開催）、小山帥人さん（ジャーナリスト）「わが家に来たアメリカ人脱走兵」、権赫泰さん（聖公会大学校教授）「韓国人密航者・脱走者と日本の社会運動」、

元ベ平連こうべのみなさんによるリレートーク，黒川伊織さん（神戸大学研究員）による解説

2016年2月20日・21日，国際シンポジウム「移動という経験：東アジアから考える」（本研究科日本文学研究室・文学環境論コースと共催），伊豫谷登士翁さん（一橋大学名誉教授）「〈人の移動〉という問い：「逸脱」を越える」，安岡健一さん（本研究科特任講師）「近代日本の農村とその「他者」」，申寅燮さん（建国大学校アジア・ディアスポラ研究所所長）「〈多文化〉もしくは移動の語り：韓国多文化文学を例として」，美馬達哉さん（立命館大学教授），西川祐子さん（元京都文教大学教授），孫歌さん（中国社会科学院文学研究所研究員），ブレット・ド・バリーさん（コーネル大学教授），朴裕河さん（世宗大学校教授）コメント。2日目サブ・テーマ「移動から問う戦争」，北村毅さん（本研究科准教授）講演「戦争の記憶と人の移動」。大学院生研究報告，ガラシーノ・ファクンドさん（本研究科大学院生）「スペイン語圏から日露戦争後の日本を書く：E・G・カリージョの紀行文を中心に」，稲田光太郎さん（本研究科大学院生）「戦地に赴く仏教者：従軍僧佐藤巖英と「念仏師団」の兵士たち」，猪岡叶英さん（本研究科大学院生）「シマを出る位牌：沖縄の祖先祭祀の継承にみる戦争の影響」

2016年2月24日，著者の朴裕河さん（世宗大学校教授）を迎えて，著書『帝国の慰安婦』の合評会を開催

2016年5月26日，ハンス・マーティン・クレーマさん（ハイデルベルク大学教授）講演会，演題は「公教育に見られる政治と宗教の分離：その類型の日欧比較」，橋本順光さん（本研究科准教授）コメント

2016年6月21日，マーレン・エーラスさん（ノース・カロライナ大学准教授）講演会，演題「アメリカにおける日本近世史研究の現在」，宇野田尚哉さん（本研究科准教授）コメント

2016年8月5日，国際ワークショップ「日本研究の現在」。第1部「戦時期の言説を読みなおす」，昆野伸幸さん（神戸大学准教授）「戦時期の国体論を再考する」，オリオン・クラウタウさん（東北大学准教授）「15年戦争期における日本仏教論の展開」。第2部「グローバル化時代の日本研究」，宇野田尚哉さん（本研究科准教授）発題，昆野伸幸さん，オリオン・クラウタウさん討論

2016年10月7日，ヴォルフガング・ザイフェルトさん（ハイデルベルク大学名誉教授）講演会，演題「竹内好「近代とは何か」を西ヨーロッパで読む」

2016年12月1日，韓国・仁川で開催された第1回東アジア日本研究者協議会において早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「東アジアの人文知」と共同でパネル報告「東アジア冷戦と1950年代日本の文化運動」を主管。司会趙寛子さん（ソウル大学校助教授），発表者宇野田尚哉さん（本研究科准教授）・鳥羽耕史さん（早稲田大学教授），討論者馬京玉さん（極東大学校教授）・黒川伊織さん（神戸大学研究員）

2016年12月23日，国際ワークショップ「戦後日本の文学と〈記憶〉」，ケンダル・ハイツマンさん（アイオワ大学助教授）「Yasuoka Shotaro: Mass Memory and Individual Memory」，

- 崔範洵さん（嶺南大学校副教授）「小林勝の小説における〈戦後〉の形象化：植民地体験・反戦運動体験とその記憶」、山崎信子さん（リーハイ大学助教授）、川口隆行さん（広島大学准教授）コメント
- 2017年1月10日、公開セミナー、ケンダル・ハイツマンさん（アイオワ大学助教授）「アメリカ大学院事情」
- 2017年3月11日・12日、国際ワークショップ「冷戦経験の同時代史：トランスパシフィックな想像力を読みなおす」、アン・シェリフさん（オーバーリン大学教授）「*Enemies into Friends: Popular Front and Red Fascism in Cold War Arts and Literature*」、大西雄一郎さん（ミネソタ大学教授）「*Thinking through Occupied Okinawa: The Challenge of Afro-Asian Solidarity, Then and Now*」、益田肇さん（シンガポール国立大学助教授）「冷戦とは何だったのか：想像上の現実、ひとびとの日常戦争、社会的装置」、篠田徹さん（早稲田大学教授）、辛島理人さん（神戸大学准教授）、大野光明さん（日本学術振興会特別研究員）、黒川伊織さん（神戸大学研究員）、キアラ・コマストリさん（オックスフォード大学大学院）コメント
- 2017年4月6日、ヴィアチェスラフ・ヴェトロフさん（ハイデルベルク大学助教）講演会、演題「『淮南子』における光と闇の象徴性：比較研究の視点から」、浅見洋二さん（本研究科教授）、山本嘉孝さん（本研究科講師）コメント
- 2017年5月11日、ヤン・シーコラさん（カレル大学教授）講演会、演題「チェコにおける日本研究の現状：カレル大学を中心に」
- 2017年6月1日、国際ワークショップ「『在日文学』研究の現在：北米の動向を中心に」、クリスティーナ・イさん（プリティッシュ・コロンビア大学助教授）「*Postcolonial Legacies and the Divided "I" in Occupation-Period Japan*」、平田由美さん（文学研究科教授）、廣瀬陽一さん（大阪府立大学研究員）コメント
- 2017年6月5日、国際ワークショップ「『朝鮮』から戦後日本を問う」、ゲスト権赫泰さん（聖公会大学校教授）、富永悠介さん（本研究科助教）「権赫泰さんの近業をめぐって」、宇野田尚哉さん（本研究科教授）「関連報告：雑誌『朝鮮人』をめぐって」
- 2017年7月22日、Osaka University Japanese Studies Workshop 2017 \*このワークショップについては、本報告書「特集2」をご覧ください。
- 2017年9月10日・11日、国際シンポジウム「海保青陵の時代としての江戸後期：没後200年記念」（青陵談話会と共催）、M・キンスキーさん・徳盛誠さん「2015年の青陵ワークショップ報告をめぐって」、渡辺浩さん「海保青陵研究の意義と方法」、M・キンスキーさん「海保青陵の政治意識」、八木清治さん「江戸期の文人ネットワークと海保青陵」、小室正紀さん・青柳淳子さん「経済史の中の海保青陵」、前田勉さん「近世日本における読書文化と知の拡大」、アニック・ホリウチさん「木村兼葭堂のネットワークについて」、「総括討議」（小島康敬さん司会）
- 2017年9月29日、国際ワークショップ「東アジアから原爆文学を読みなおす」（嶺南大学

校人文学事業団東アジア平和学チーム主催，原爆文学研究会・大阪大学大学院文学研究科グローバル日本研究クラスター協賛。韓国・大邱の嶺南大学校で開催） \*このワークショップについては，本報告書「特集1」をご覧ください。

2017年10月17日，ユディット・アロカイさん（ハイデルベルク大学教授）講演会，演題「日本文学史の『古典』とは？」，吉田耕太郎さん（本研究科准教授），山本嘉孝さん（本研究科講師）コメント

2017年10月30日，国際ワークショップ「〈東アジア思想史〉の可能性を探る」，田世民さん（台湾大学副教授），浅見洋二さん（本研究科教授），佐藤由隆さん（本研究科大学院生）コメント

2017年12月9日，国際ワークショップ「人の移動と外国人嫌悪」（建国大学校アジア・ディアスポラ研究所・大阪大学グローバル日本研究クラスター共催，建国大学校・在外同胞財団後援。韓国・ソウルの建国大学校で開催），申寅燮さん（建国大学校アジア・ディアスポラ研究所所長）「開会の辞」，宇野田尚哉さん（本研究科教授）「1990年代以後の在日外国人数の動向とヘイト・スピーチ」，徐己才さん（建国大学校）「「嫌韓」言説形成の場としての引揚者：児童文学『お星さまのレール』」，Yasuko Hassall Kobayashiさん（本研究科助教）「ヘイトに立ち向かう社会的免疫力：オーストラリアのイスラムフォビアの事例から」，李真亨さん（建国大学校）「戦後日本の分裂した歴史認識に内在する二重的他者感情：羞恥心と嫌悪—大江健三郎『万延元年のフットボール』を中心に—」，安岡健一さん（本研究科准教授）「二つの嫌悪：「嫌韓」と世代間格差に関する試論」，姜宇源庸さん（カトリック関東大学）・禹妍熙さん（建国大学）・尹頌雅さん（慶熙大学）・李丞鎮さん（東国大学）・李漢正さん（祥明大学）「総合討論」，朴鐘明さん（建国大学校）「閉会の辞」